

# 日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部

2014年度ニュース・レター 第1号

2014年5月30日発行

平素はOR学会関西支部の活動にご協力賜り、誠に有難うございます。支部シンポジウムの企画がまとまりましたので、今年度のニュース・レターの第1号をお送りします。ぜひご参加頂ければと存じます。関西支部の企画につきましては、支部のWebサイト(<http://www.orsj.or.jp/kansai/>)にも掲載しております。今年度もすでに3ヶ月が過ぎましたが、引き続きご支援をお願いします。

それでは、シンポジウムや支部講演会等でお会いできますことを楽しみにしております。

関西支部幹事 林坂弘一郎

## 1. 2014年度支部役員を紹介

支部長	三道 弘明	大阪大学 大学院経済学研究科
副支部長	岳 五一	甲南大学 知能情報学部
監 事	山下 信雄	京都大学 大学院情報学研究科
	能勢 豊一	大阪工業大学 工学部
幹 事	林坂 弘一郎	神戸学院大学 経営学部
運営委員	宇野 裕之	大阪府立大学 大学院理学系研究科
	大西 匡光	大阪大学 大学院経済学研究科
	笠原 正治	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
	菊田 健作	兵庫県立大学 経営学部
	木庭 淳	兵庫県立大学 経済学部
	栗尾 孝	パナソニック株式会社
	小出 武	甲南大学 知能情報学部
	椎原 正次	大阪工業大学 情報科学部
	柴田 淳子	神戸学院大学 経済学部
	滝根 哲哉	大阪大学 大学院工学研究科
	巽 啓司	大阪大学 大学院工学研究科
	中尾 芳隆	キヤノン IT ソリューションズ株式会社
	仲川 勇二	関西大学 総合情報学部
	永持 仁	京都大学 大学院情報学研究科
	畑 正夫	兵庫県立大学 地域創造機構
	北條 仁志	大阪府立大学 大学院理学系研究科
	松崎 健一	株式会社日本総合研究所

森田 浩	大阪大学 大学院情報科学研究科
森田 裕之	大阪府立大学 経済学部
吉富 康成	京都府立大学 大学院生命環境科学研究科
井垣 伸子	関西学院大学 総合政策学部
乾口 雅弘	大阪大学 大学院基礎工学研究科
梅谷 俊治	大阪大学 大学院情報科学研究科
大村 雄史	近畿大学 経済学部
奥原 浩之	大阪大学 大学院情報科学研究科
甲斐 良隆	関西学院大学 専門職大学院経営戦略研究科
笠野 学	三菱重工業株式会社
多田 実	同志社大学政策学部
羽室 行信	関西学院大学 専門職大学院経営戦略研究科
藤江 哲也	兵庫県立大学 経営学部
益田 照雄	帝塚山大学 経営情報学部
松尾 博文	神戸大学 大学院経営学研究科
毛利進太郎	神戸学院大学 経済学部
森原 一郎	大阪大学 情報基盤本部
山川 栄樹	関西大学 社会安全学部
山川 茂孝	株式会社電通
尹 禮分	関西大学 環境都市工学部
中村 達也	西日本旅客鉄道株式会社
増山 博之	京都大学 大学院情報学研究科

## 2. 支部シンポジウムのご案内

今年度も、本部から交付された運営費に基づいて、支部シンポジウムを開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

テーマ：「この課題、ORで解けますか？」

企業の課題にOR研究者が答える企業事例研究会」

主催：日本OR学会関西支部

日時：2014年7月5日（土） 14:00～17:00

場所：大阪大学中之島センター 講義室703

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53

<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/>

アクセス：<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

趣旨：ビッグデータの時代と言われる昨今、企業には様々なデータが蓄積されています。しかしながら、それらのデータを活用するためのモデリングの知識不足で、せっかくのデータが課題解決に活用されていないケースが散見されます。

本シンポジウムでは企業の現場でのデータ活用事例をご紹介頂きつつ、その中で出てくる企業の課題についてご説明いただきます。また、その課題について、パネルディスカッション形式で研究者側コメントやご質問いただき、解決の糸口を見つけようという試みです。

◆企業側 プレゼンテーション：

(1) 「都市価値を高めるビックデータ活用の最前線とこれから」

電通コンサルティング 小宮 信彦 氏

概要：スマホメディアの普及率向上や UGC (consumer generated contents) の爆発を通じ、「街とヒト」とのコミュニケーション、ロイヤリティ形成のあり方にイノベーションが起こりつつあります。グランフロントで行われている最新事例を中心に、様々なビックデータは都市価値創造にいかに関与できるか、をディスカッションします。

(2) 「CRM領域におけるデータ分析と顧客価値向上へ向けた取り組み」

シナジーマーケティング 西尾 義英 氏

概要：顧客との絆は企業にとって生き残りの生命線。その絆の深さをデータで客観的にとらえマネジメントしようとする試みがビジネス界で活発化しています。顧客にとっていかに企業が価値あるもので有り続けるために、企業は顧客に何を伝えなければならないのか？価値観マーケティングの考え方をご紹介し、今後の可能性についてディスカッションします。

(3) 「広告の効果検証と最適化に向けた取り組み」

電通関西支社 山川 茂孝 氏

概要：広告投下に対してどれだけのリターンがあったか、という問いは古くて新しい問題です。広告効果検証や予算最適化に向けたメディアプランニングの実際についてご説明し、さらなる広告の効率化に向けた方法論が無いか、をディスカッションします。

◆研究者側 パネリスト

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 住田 潮 氏

関西学院大学 総合政策学部 井垣 伸子 氏

オーガナイザ：電通関西支社 山川 茂孝 氏

シンポジウム参加費：無料

懇親会：

(1) 場所：赤おに家 福島店 (<http://r.gnavi.co.jp/c956003/>)

(2) 時間：シンポジウム終了後 17:30 より

(3) 費用：5,000 円程度

なお、懇親会につきましては準備の都合がございますので、ご参加戴けます方は

##### 6月27日(金)まで #####

に懇親会担当の林坂宛([rinsaka@ba.kobegakuin.ac.jp](mailto:rinsaka@ba.kobegakuin.ac.jp)) に E-mail にてご連絡くださいますようお願い申し上げます。

問合せ先：

電通関西支社 山川 茂孝 [shigetaka.yamakawa@dentsu.co.jp](mailto:shigetaka.yamakawa@dentsu.co.jp)

### 3. 支部講演会（ゲーム理論研究交流会）ご案内

10月には下記のとおり支部講演会の開催も計画しております。詳細は追ってお知らせいたします。

主 催：日本 OR 学会関西支部

日 時：2014年10月25日（土）

場 所：未定

オーガナイザ：菊田 健作 氏（兵庫県立大学 経営学部）

テ ー マ：ゲーム理論研究交流会

講 演 者：

1. 松林 伸生 氏（慶應義塾大学）
2. 三道 弘明 氏（大阪大学）
3. 渡辺 隆裕 氏（首都大学東京；研究部会「OR とゲーム理論」主査）

### 4. 今後の企画について

関西支部で行う企画などについてご意見やご提案などございましたら、幹事の林坂 ([or-west-office@ba.kobegakuin.ac.jp](mailto:or-west-office@ba.kobegakuin.ac.jp)) までご連絡いただければ幸いです。